



No.1602CT

グレビティヒンジ(中心吊)テラゾー用(左右勝手あり)

取 付 説 明 書

この度は、本品をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用(取付)に際しましては、本書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

誤った使用(取付)をされますと、思わぬけがをする恐れがありますので本書説明、注意事項をお守りくださいますようお願いいたします。

部品構成

①上部		②下部		③付属部品		
 ×1	 ×1	 ×1	 ×1	 ×2	 ×4	 ×6
枠側上部ヒンジ	扉側上部ヒンジ	枠側下部ヒンジ	扉側下部ヒンジ	ブラケットカバー	取付ねじ(緩み止め剤付)	取付ねじ

▽別途推奨部品

※使用頻度の多い場所には専用サポートを使用してください。

No.1 H・24~31mm
No.2 H・30~43mm
No.3 H・40~63mm
No.4 H・60~100mm



×1

カバー



×1

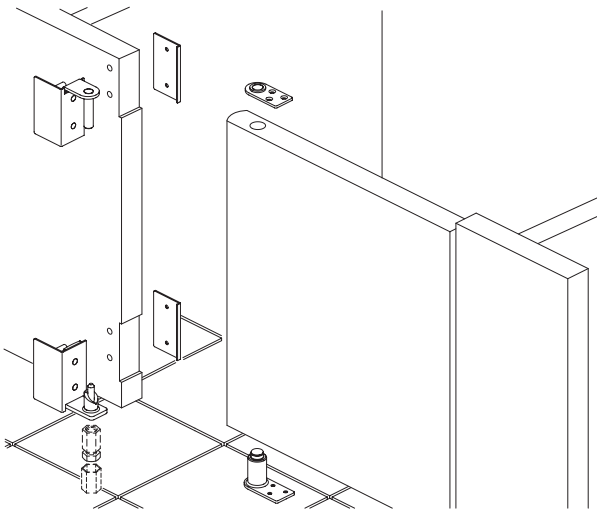
専用サポート

仕様範囲

- ・扉高寸法 A-40mm
- ・扉厚寸法 40mm/m
- ・扉重量 20kg以下(使用頻度の多い場合は専用サポートを使用してください。)

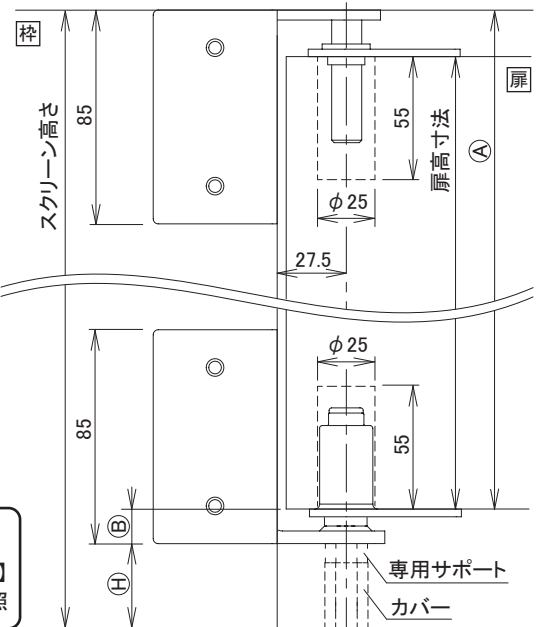
※扉は制止位置より90°開きは約8mmせり上がります。

本体の取付け



※イラストは左勝手です

取付け寸法



③寸法

裏面の
【1. 枠側下部ヒンジ取付け】
を参照

▲ 金物の保守・点検

- ・金物の表面に汚れが付かないよう、定期的に掃除してください。基本的には、柔らかい乾いた布で軽く乾拭きしてください。
- ・汚れが落ちにくい場合は、布に少量の中性洗剤を浸し汚れを落とし、その後、水に浸した布で洗剤を除去した後、乾いた布で軽く拭いてください。この場合中性洗剤以外の洗剤や薬品は使用しないでください。
- ・取付ねじに緩みが生じた場合は、ねじの締付けを行ってください。緩んだまま使用していると破損の原因にもなります。

▲ 安全上のご注意

- ・製品は必ず本取付説明書の示す用途以外の使用はしないでください。故障やケガの原因になりますのでご注意ください。
- ・部品の隙間に奥深く指や手を入れたりしないでください。思わぬケガをすることがあります。
- ・お客様のお取り扱いの不注意、または不適切な取付けのため生じた不具合・故障の場合、責任を負いかねる事があります。
- ・本取付説明書は、施工またはご使用前に必ずお読みください。
- ・取付部補強の強度を確認して取付けてください。

※本説明書は必ず施工主様へお渡し下さい。

製品改良の為、予告なく変更する場合があります。予めご了承下さい。

株式会社ベスト 東京都千代田区神田紺屋町41

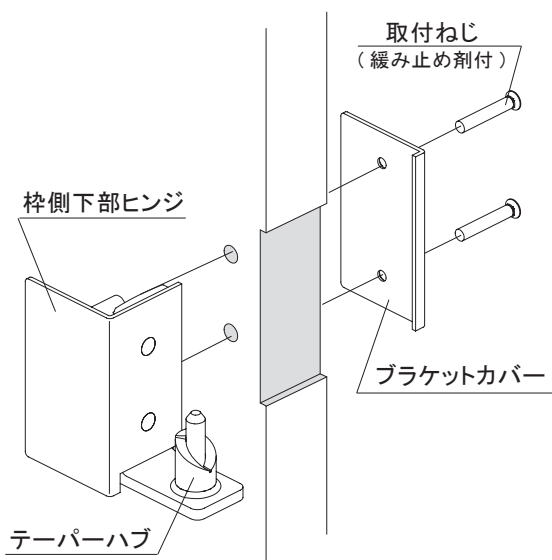
お問い合わせ先 TEL:03-3257-7700 URL:www.best-x.co.jp

施工ガイド

1. 枠側下部ヒンジ取付け

- ① 枠側下部ヒンジの寸法を確認して彫込み、取付けてください。
- ② テーパーハブの凹面の方向を決めてください。

⚠ 芯棒を必ず垂直にしてください。



枠下彫込み図

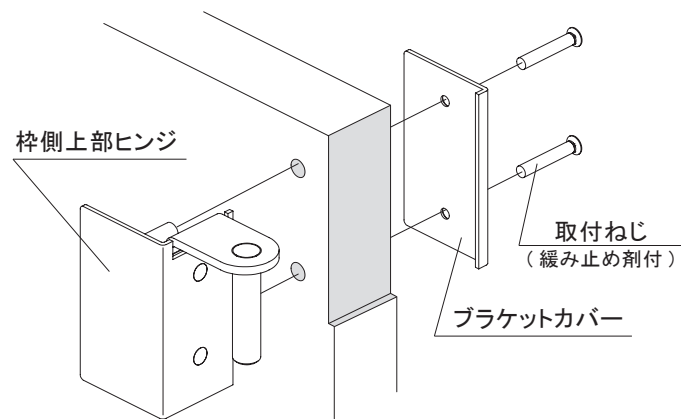
扉設定

扉仕様	②寸法	テーパーハブ設定
常閉	10 mm	凹面 内側
常開 (半開き外)	10 mm	凹面 外側
常開 (半開き内)	10 mm	凹面 内側
常開 (90°)	18 mm	凹面 内側

2. 枠側上部ヒンジ取付け

枠を彫込み、枠側上部ヒンジを取付けてください。

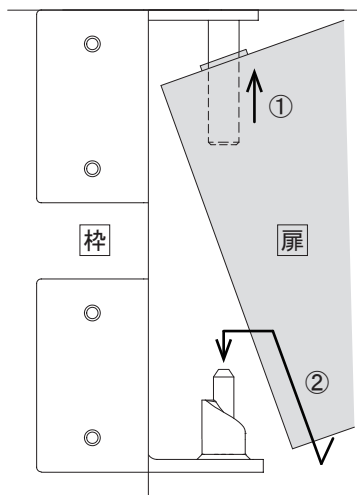
⚠ 芯棒は下部ヒンジと一線にし、必ず垂直にしてください。



枠上彫込み図 枠下彫込み図を参照してください。

4. 吊り込み

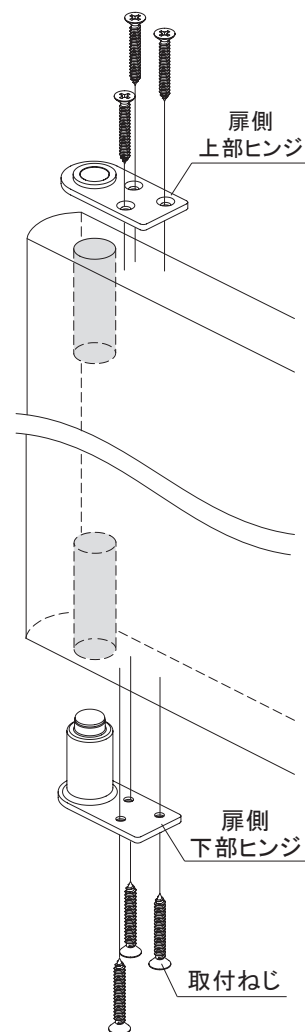
- ① 扉は上部より先に差込んでください。
- ② 下へ落とし込んでください。



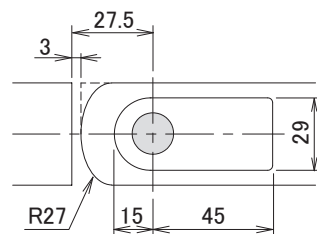
3. 扉側上下部ヒンジ取付け

扉を彫込み、扉側上下部ヒンジを取付けてください。
※扉吊元は片面または両面をアール加工してください。

⚠ ・穴芯は枠面より27.5mmで彫込んでください。
・彫込みは必ず垂直にしてください。



扉上下彫込み図



※R加工無しの場合

扉厚	36mm	40mm	41mm以上
リ寸法	10mm	12mm	R加工必要

